

大会宣言

JMITU通信産業本部東京支部は、第8回定期大会を開催し、2022年春闘をはじめとする1年間のたたかいを総括するとともに2023年度運動方針を確立しました。

2022年春闘では、国民生活破壊を許さず、生活改善と向上を目指す重要なたたかいとなりました。ロシアによるウクライナ侵略による生活悪化と消費不況への不安の高まりを背景とした大幅賃上げを求める社会的世論を積極的に活用し、攻勢的なたたかいを展開しました。

新型コロナウイルス下でもグループ全体の業績は堅調で、NTTグループは、純利益を2649億円増加させ、内部留保は、9兆444億円と増加させています。

通信労組は切実な賃上げ要求額として月額35000円以上、時間賃金一律280円以上の引き上げを要求しました。NTT主要7社で一人平均3300円、一律ベースアップ改善は、700円の超低額回答。60歳超え月給制社員には、750円の改定で平均2250円。60歳超え時給社員への賃金改定は今年も「ゼロ回答」という不当な賃金差別対応となりました。

大会の討論をつうじて、要求をあきらめず団結すれば運動は前進すること、困難な職場でも組合員拡大ができること、組合活動の継続で職場に変化が現れていることが明らかとなり、たたかいの新たな展望が見えてきました。これらの教訓と課題を全組合員のものとし、要求実現と組織建設に総力をあげていきましょう。

国民を無視した岸田自公政治とその補完勢力に未来はありません。国民生活と権利が脅かされています。

JMITU通信産業本部東京支部は、憲法改悪と戦争する国づくり、労働法制大改悪阻止のたたかいとともに、組織建設を前進させ、労働組合の団結の力で岸田政権打倒のためのたたかいを強め、労働者のくらし、雇用や職場を守るたたかいに総力をあげていきます。右宣言します。

2023年10月14日